

七月十日（水）第三十八回總持院談會

日米國交調整特ニ六月二十一日附「ハル」  
長官ノ回答ニ關スル外務省側ノ意見開陳ノ件

場所 首相官邸

出席者 前四ニ同シ（但シ兩次長列席セス）

松岡外相 成ルヘタ「ハル」ノ回答案ニ就テ取り入レルヘキモノハ取

り入レテ見ヤウト考ヘテ見タカ納局本案ハ最初ノ案ヨリ惡  
イ野村電ニヨレハ仲立マリニクイ故何トカシテキマルモノ  
ナラハ考ヘ直シテ成立テキルヤウニシテクレト言ツテキル  
カドウモ此案テハ六ヶ敷イ

以下齋藤顧問ヲシテ説明サセル

研究ヲシテ見ルト色々左記ノヤウナ點ヲ本案ハ受ケ入レテ  
レナイトコロカ多イ

第一

今世界ハ現狀維持ト現狀打破民主主義ト全体主義カマンジ  
巴ニナリテ戦ウテキル「ハル」ノ同等案ハ現狀維持テアリ  
民主主義テアル「アメリカ」カ英國及支那ト協議シテヤツ  
タコトハ申ス迄モアルマイ新クシテ現狀維持固カ一蹴シテ  
日本壓迫ニ乘リ出スモノト思フ日支間ノ交渉ニ就テモ「ア  
メリカ」ノ考ヘテキルコトハ事變前ノ形ニ返ヘシテ交渉サ  
セヤウトスルニアル此案中「支那政府」トイフ文句ヲ使ツ  
テキルカ「クセモノ」テアルコレハ日支基本條約ヲ取リ消  
セトイフノト同シタト思フ爾京政府承認ノ取消シハ顔死ノ

重慶ヲ囚坐セシメルコトニナル此ノ「支那政府」トイフ言  
葉ヲ克ク玩味シテ検討スルヲ要スル

第二

滿洲ハ支那ノ復讐スヘキモノテアルト考ヘテキル  
本案ハ要スルニ日滿支ノ共同宣言ヲ白紙ニモトシテ日支交  
渉セヨトイフテキル

重慶カ失地回復ヲ目的トシテキル斷コンナ考ヘテ交渉ヲ始  
メタラ始メカラ地轉スルニ決ツテキル

第三

治安駐兵ヲ認メテキナイ無條件撤兵ヲ目標トシテキル  
治安駐兵ハ帝國ノ國策トシテ最モ重大ナル要求テアル無條  
件撤兵セハ事實問題トシテ支那ハ共產黨、國民黨國民政府  
重慶個カ争闘シテ非常ニ紊亂シテタルカクナレハ英米カ介

入シテクルコトニナル從ツテ無條件撤兵モ亦交渉ノ行動リ  
ヲ招來スル

#### 第四 防共撤兵ヲ非難シテキル

日本業ハ今日迄ノ條約ヲ生カシテ行カウト努メテキルニモ  
拘ラス米國ハコレヲ削ツテカカロウト考ヘテキル防共撤兵  
ヲ「アメリカ」カ認メテキナイコトハ「ハル」ノ「ステー  
トメント」中ニアラワレテキル

#### 第五 日本ハ日支ノ完全ナル提携ヲ企圖スルニ對シ米國側ハ無差 別待遇ヲ主張シテキル

コレテハ東亞新秩序ノ建設ノ如キハ不可能テアル英米ハ今  
日迄援蔣行爲ヲ續ケ支那ニ於テ將來有利ナル地位ヲ確立シ

ヤウト考ヘテキル全面和平ノ時今日ノ特權ヲ基礎トシ全支  
ニ亙リ全世界金ノ八割ヲ保有スル米國ノ「弗」ノ力カ衰ル  
コトトナル

#### 第六 日支和平交渉解決ノ根本ヲ日米兩國間テ決メテ其範圍内テ

日支直接交渉ヲサセヤウト考ヘテキル  
即チ東亞ノ指導權ヲ「アメリカ」ニ讓ルコトニナル範圍ノ  
自主的國策ノ遂行ヲ妨害スルコトニナリ支那問題ニ對シ口  
ヲ入レサセル權利ヲ米國ニ與ヘルコトニナル

#### 第七

歐洲戰爭ニ對スル日米兩國ノ態度ニ就テハ大イニテカフ  
換言スレハ米國ハ參戰スルカ日本ハ歐ツテ居ロトシカ見え  
ス「アメリカ」ハ自衛權ニ付テハ非常ニ廣イ解釋ヲシテキ

ル又日本ニ對シ三國條約ヨリ脫退セヨト云ハヌバカリノコトヲ述ヘテキル

コンナ考ヘハ當然否定セネハナラヌ

第八 日米間ノ貿易ニ付テハ事變前ノ額ニ鉅付クシヤウト考ヘテ  
ホル

要スルニ現狀維持ノ願カハツキリシテキル然モ普通ノ商取引トイフコトニ書イテアルカ將來銅材屑鐵等重要物資ニ就テハ貿易額ヲ増加シナケレハナラヌモノヲ事變前ト同シトイフコトハ日本ノ貿易發展ヲ合法的ニ防止スルコトニナル即チ日本ノ將來ノ經濟發展ヲ妨害シ米國自体トシテハ東洋ノ市場ヲ自由ニ占ムルコトニナル

第九 南西太平洋ノ商取引イフ字ヲ削ツテキルコレハ北太平洋ニ

モ重大ナル關心ヲ拂ツテキルコトヲ實證シ得ル

第十 普通ノ商取引ト云フテキルケレトモ日本トシテハ單ニ商業ノミナラス鑛工業等ヲモ考ヘテキルノチ米國ハ商取引ト稱シテ日本ノ要求ヲ明ラカニ制限シテキル

第十一 日米移民問題ニツキテハ此前ノ案テハ他國ノモノト同シヤウニスルト言ツテキルケレトモ此度ノ案テハ削ツテキル

第十二 「フィリッピン」ノ獨立ニ關シテ提議シタケレトモ「フィリッピン」ハ未ダトテモ獨立サセル程度迄發展シテキナイトアツサリ取扱ツテキル

第十三 「ハル」ノ「ステートメント」ハ實證同斷ノ實據使ヒ

テアル「防共陸兵ヲ考ヘル余地ナシ」トカ「日本政府内ニ  
ハイロイロト意見カ別レテキル樞軸側ニ立チテ「ヒ」ト共  
ニ戦フヲ可トスル關係カキルソウダカソナ日本政府ト協  
定ハ出来ヌ日米國交調整ヲ計リタケレハ内閣ヲ改造セヨ」  
トイフカ如キ日本ヲ馬鹿ニシタ態度テアル自分モ其イ間外  
交官生活ヲシタカコンナ言ヒ分ハ對等ノ國ニ對スル言葉使  
テナクシテ保護國又ハ屬領ニ對スル態度テアリ不都合千萬  
デアル

#### 松岡外相

齋藤顧問ノ報告ト大体同意見テアルカニニノ考ヘテ申シ述

ヘル

#### 第一

「ハル」ノ「ステートメント」ハ亂暴千萬テ帝國カ對當ナ

ル外交ヲ行フ様ニナツテ以來未ダ嘗テナイコトデア  
ル野村ハ自分ト親シイ關係テアルカコンナ組織千萬ナル「ス  
テートメント」ヲ取纏クカ如キハコレ亦不届千萬デア  
ル内閣改造ノ如キヲ世界的ニ強大ナル日本ニ對シテ要求シタ  
ノヲ黙ツテ聞イテキルトハ實ニ驚キ入ツタ次第テアルソコ  
テ早速自分カラ「君ハアンナ「ステートメント」ハ取纏ク  
ヘキテハナカツタト思フカ何か錯覺ハナカリシヤ當時ノ情  
況知ラセヨ」ト言フテヤツタ次第タカ何ノ返事モナイ

#### 第二 三國同盟ノ抹殺ハ出来ヌ

第三 「アメリカ」ノ案ヲ容レルコトハ大東亞新秩序建設ヲユス  
ルコトデアリ事極メテ重大デアル

日支間ノ解決ヲ英米カ手ヲ代ヘ品ヲ代ヘ口ハシヲ入レテヤ  
 ロウト考ヘテキルモノト思フ尙不愉快ナノハ國民中ニモ日  
 清日露締和談判ノトキ「アメリカ」ハジメ第三圖ノ世語ニ  
 ナツタコトヲ例ニシテ三十年後ノ帝國ノ地位ヲ忘れ東亞ノ  
 指導權ヲ確立セントシ四年間モ戦ヒ抜イテ來タ今日此ノ際  
 尙且第三圖ノ世語ニヨリ辯和ヲシタ方カヨイト考ヘテキル  
 モノカアルコトデアアル俗ニ云ヘハ支那事變ヲ持テ余シテ自  
 分ノ理想ヲ打テ忘レ「花ヨリ園子」トイフ考ヘテ推クモノ  
 カ相當アルノカ不愉快ニ思フ

「アメリカ」ハ「アイスランド」ヲ占領シタ當然參戰モ開  
 戦テアルニ拘ラス目ヲ捻ウテ參戰ニアラスト言ツテキル數

易テモ現狀ヲ維持シ事變前ノ形ニモトセハ日本ノ經濟的發  
 展ヲ礙メナイノハ眼ニ見エサル要スルニ「アメリカ」ハ日  
 本ノ東亞ノ指導權ヲ抹殺シヤウト考ヘテキルコンナコトテ  
 ダズグズシテキルト結局日本ノ云フコトヲ取リ上ケテ日本  
 攻撃ノ材料ニ取入レヤセルタケテアル其中ニ上院アタリテ  
 勝手ナ質問ヲ發スルコトトナリ日本國內ヘノ影響モ亦大テ  
 アル

右ノ次第デアアル故自分ハ「ハル」案ヲ受ケ入レルコトハ出  
 來ナイ何トカシテ駭合ヲツケタイト思フカ到底成功ノ見込  
 ナシ元來「アメリカ」ハ日本案ヲ四十日モ放置シタコンド  
 ノ案カ來タノハ六月二十二日タカラマタ二週間ニモナラス

ノニ野村ハ四五度モ催促シテ來ル交渉ヲ此儘ズルズルノバ  
スノハノバシテモヨイカ先方ノ言分ヲ受ケ<sup>テ</sup>レルコトハ頗  
野出來ナイ

尙「ハル」ノ「ステートメント」ニ「大使及同僚等ノ努力  
ニ拘ラス」トアツタカラ同僚等トハ唯カ國家ノ外交機密ハ  
外務大臣カラ大使ヘ大使カラ「ハル」長官ヘト斷サルヘキ  
ニ拘ラス多人數カ關係シテヘルカ如キハ不届タト野村ニ  
詰問シテヤツタ

斯クシテ十二日（土）更ニ本問題ヲ討論スルコトニシテ散會セリ

七月十二日第三十九回連絡懇談會

對米國交調整ニ關スル件

一出席者 寺崎阿米利加局長ヲ加フ

ニ要旨

前同ニ引續キ對米國交調整今後ノ處理ニ關シ審議シタル結果、他  
迄帝國最初ノ案ヲ堅持スルモ尙交渉ノ餘地ヲ殘シ、文句ノ修正ヲ  
多少ニテモナシ得ルナラハ修正ヲシテ回答ヲナスコトニ決ス  
之カ爲本日午後陸海外三局長ニ於テ一案ヲ造ルコトトス  
尙「ハル」國務長官ノ「オーラルステートメント」ハ之ヲ拒否スルコト  
トナセリ

三審議ノ概要左ノ如シ